

岩高短歌
「ワタシタチノウタ」
月間優秀賞作品 R5①

発行者
岩出山高校
国語科

【四月】 緑色・春のもの・ノート・LINE

月間賞

想えども勇気も出せず離れゆく私の心は舞い散る桜

第二席

新しい白紙のノート開いたらペンをぎゅっと慎重に書く

第三席

始まりの真白のノート書き綴るまるで言葉の貯金箱だ
昨年ノートを眺め思い出す緊張しながら学んだ日々
満開の桜が告げる新学期過ぎ去った日々惜しむ間も無く
目に見えず透けた命が風により新緑へと葉を色づける

優良賞

桜散りかすかに彩る夏の色木の葉の緑近づく青い夏

春色に染まり尽くした城山は風に吹かれて新緑へ

桜降る春の中ごろお互いに意識し合うはラインの中で

登る道縁に囲まれ息を吐くここだけはまだ変わりたくない

卯月の日桜咲く道踏み出した見届けてくれ私の道を

我らまだ右往左往の青二才風ぐ若草もまだ青い

慣れぬまま勇気も出せず歩き出す行き着く先は茨の道

桜散る校舎の外桜だけ賑わう色で染められてゆく